

# バス停タイムス

2014年9月9日

No.22

発行者

成田隆浩

編集者

教宣部

JR東海労働組合新幹線地方本部

## 工具一時紛失で身体検査！ 人権無視のSEK！

大井基地で働くみなさん！ おはようございます。

8月10日、SEKの交検でドライバーが紛失しました。さいわい、ドライバーは終了点呼前に発見されました。しかし、その間SEK管理者は、1班2班の社員に対して身体検査を行ったのです。社員の中にドライバーを盗み、隠している者がいると決めつけ、「犯人」探しを大々的に行ったのです。会社・管理者による人権無視のパワハラです！

身体検査は、警察官などが行う場合は「身体搜索」と言われ、裁判所の令状が必要です。ヒトの体を触り衣服の中に手を入れることは簡単にできないことなのです。それを、有無を言わず大勢の社員に行ったのです。

SEK管理者は、「社員の中にやったやつがいる。まだ間に合うから名乗り出ろ！」と言い、なりふりかまわぬやり方で大事件にしたのです。このような状況では、たとえドライバーを戻し忘れた社員がいても、戻せなくなってしまう。

さらに交番検査で働いていた社員を呼び出し、勤務時間が終わっている18時過ぎまで取り調べをしています。その際、「会社に恨みはあるか」「変な動きをしている者がいたら言え」と言っています。これはドライバーを盗んだ「犯人」は、会社に恨みを持っている社員だと決めつけているのです。さらにSEK管理者は、JRに対して監視カメラを専門会社に解析させるよう要請したのです。ここまで社員を犯罪者扱いし、徹底的に締め上げることに對して非難と怒りが巻き起こっています。

## 人間らしさをとり戻すため共に声を出そう！

実は昨年もSEK管理者によって「大事件」がつくられています。工具の一時紛失に対し関係者を帰宅させず、徹夜で取り調べをしたのです。また8月某日、SEKの管理者＝某代理が、大声で口汚く怒鳴っていた件は「聞くに堪えなかった…」という話もありました。

また、JRの管理者は「JRとSEKは一体」と言っています。そして、「ヒトは間違いをおかすもの」とも言っています。しかし、「一体」なのは労働者に敵対的な社員管理を行い、小さなミスでも絶対許さないことなのです。SEK幹部・管理者の大半が元JRの管理者で、JRの手法を取り入れているのです。だからJRもSEKも同じなのです。共に声を出し働きやすい職場環境をつくりましょう。

# えっ！職名手当が調整給に！？

ドライバー1本の一時紛失で、身体検査される恐怖を覚えるような社員管理や、さらにSEKの仲間たちにとって別の「恐怖」とも言える現実を紹介します。その一つに「賃金」があります。賃金についてはJRとSEKは全く“一体ではありません”！ 新卒の基本給で4～5万円低く、その低い賃金にさらに少ない月数のボーナス…そして今春、SEKは「職名手当」の2万円を調整給に移しました。「総額は変わらない」と言うけど、ではなぜ移すのか?? 今年採用された社員は、調整給に移った2万円が支給されているか確かめるべきです。SEKの仲間からの声のひとつをそのまま紹介すると、「本来このような事は組合員を全員集めて合意の上で行うはずが、きちんとした会議も開かれなかった」ということです。

## 大井基地で働く仲間として共に闘おう！

SEKの労働者の皆さん、ユニオンショップ制のSEK労組は皆さんが現場からつくったものではありませんか?! その存在意義をかけて闘うべきです! 私たちも共に闘います! 身体検査を許さず、働きやすいSEKをつくろう! 超低賃金を改善し生活できる待遇を実現しよう!



なお、ユニオンショップ制は、使用者と労働組合との癒着が発生しやすく、御用組合を生む原因となる等の問題点も指摘されています。

JR 東海労のサイトではありませんが、インターネットで「ユニオンショップ制」「ユニオンショップ制の問題点」を入力すれば見られます。

皆さんの声をお寄せください。

ホームページアドレス <http://www.geocities.jp/jrcushinkansen2/right.html>  
メールアドレス [jrcushinkansen@yahoo.co.jp](mailto:jrcushinkansen@yahoo.co.jp)

お気軽にアクセスしてください